

第11回
京都流
議定書

2018 8.3 FRI

ハイアットリージェンシー京都

報告書

京都流議定書 公式ウェブサイト |

<http://kyotostyle.jp/katsudo/kyotoryu/>

お問い合わせ |

〒600-8103 京都市下京区五条堺町角塩釜町363

Tel.075-341-4111 | Fax.075-341-5738

主催 | 京都流議定書イベント実行委員会

 @kyotostyle.jp

 kyotoryugiteisho



協賛 |  KYOTO STYLE

 株式会社ウエダ本社 

講演・パネルディスカッション

[パネリスト]

太田 直樹 氏

株式会社 New Stories 代表
コクリ！プロジェクト ディレクター

藤井 薫 氏

株式会社リクルートキャリア リクナビ NEXT 編集長
株式会社リクルート リクルート経営コンピタンス研究所 エバンジェリスト

武井 浩三 氏

ダイヤモンドメディア株式会社 代表取締役

嘉村 賢州 氏

場づくりの専門集団 NPO 法人場とつながりラボ home's vi 代表理事
コクリ！プロジェクト ディレクター(研究・実証実験)

[聞き手]

瀬戸川 礼子 氏

ジャーナリスト/ホワイト企業大賞 企画委員

岡村 充泰 氏

株式会社ウエダ本社 代表取締役社長
京都流議定書 実行委員長

KnowingからDoingに、DoingからBeingに。知識から実践へ時代とともに移行し、今は人のあり方によって変わってきています。

KnowingとDoingは人工知能が得意とするところで、私たちがこれから大切にしていけないといけないところは、Being—どうあるかではないでしょうか。

2025年～2030年になる頃にはまだ無くなる仕事は少ないかもしれませんが、ICTとの関係性の中でその時の仕事のあり方や組織のあり方がガラッと変わっていると想像できます。

「はたらく」の語源には、諸説ありますが、「傍の人を楽にする」と「旗やりたいことを掲げてみんなと楽しむ」の2つが話に上がりました。

旗を掲げることも難しいのですが、傍の人を楽しませるのも難しいもの。

「これから人間力がもっと大切になってくる世の中になるのでは」という言葉で、今回の京都流議定書は終了いたしました。



太田 直樹 氏



藤井 薫 氏



武井 浩三 氏



嘉村 賢州 氏



瀬戸川 礼子 氏



岡村 充泰 氏

京都府京都市長
門川 大作 氏

創業八十周年記念祝賀会



京都流議定書 これまでのテーマ

第1回 2008年

Do you Kyoto?
Do you Kyotostyle?



第2回 2009年

京都スタンダードを探求する



第3回 2010年

素晴らしい企業の価値観



第4回 2011年

生き方、ライフスタイル、
価値観の大転換



第5回 2012年

未来への新潮流
～世界変えていく道筋～



第6回 2013年

人をつなぐ、人を生かす、
地域、町、未来



第7回 2014年

生まれる価値、育む価値、
生きる価値



第8回 2015年

経済とソーシャルの
交わる場所



第9回 2016年

生かす、変える、育てる



第10回 2017年

制度、風土、場

